

家電・民生研究会

〔委員長〕大森 英樹 (大阪工業大学)

〔幹事〕井上 馨 (同志社大学), 山際 昭雄 (ダイキン工業)

日時 2013年5月24日(金)9:00~11:50

場所 機械振興会館 地下3階1号室
(〒105-0011 東京都港区芝公園3-5-8)

詳細は次の URL をご参照ください。 <http://www.jspmi.or.jp/about/access.html>

連催 電子情報通信学会 電子通信エネルギー技術研究会(EE)

委員長: 庄山 正仁(九州大学), 副委員長: 大津 智(NTT ファシリティーズ)

幹事: 石塚 洋一(長崎大学), 馬場崎 忠利(NTT),

幹事補佐: 山下 暢彦(NTT)

議題 テーマ「スイッチング電源、家庭向け情報通信機器等のエネルギー有効利用技術および家電・民生技術、一般」

5月24日(金) 9:00~11:50 [IEE-HCA]

座長 大津 智 (NTT ファシリティーズ)

HCA-13-012 複数プロトコルに対応した HEMS 制御装置による家庭内自立システムの安定性の向上

○小坂 忠義、渡辺 雅浩、寺岡 秀敏(日立製作所)、松田 勝弘(東北電力)、浅利 真宏(電力中央研究所)、勝木 伸夜(日立コンシューマエレクトロニクス)、宮田 克也(日立アプライアンス)

HCA-13-013 太陽追尾ミラーを備えた太陽光発電システム

○胡 俊、谷内 利明 (東京理科大)

HCA-13-014 フィボナッチ数列を用いた 3次元太陽光発電モジュールの特性

○鈴木 政治、谷内 利明 (東京理科大)

HCA-13-015 太陽光発電とリチウムイオン電池を併用した平泉「ゼロエミッションステーション」の運用実績

○林屋 均、及川 敬敏、工藤 昭洋、藤田 徹夫、棟方 弘志、鎌田 満、岩上 哲郎、板垣 宏 (JR 東日本)

休憩 10分

HCA-13-016 照明が人の行動に与える影響についての研究

～減灯によるエネルギーの有効利用が人の行動に与える影響～

○齊藤 里香、西峰 勲、岩上 哲朗、藤村 慶人、林屋 均 (JR 東日本)

HCA-13-017 I-F 変換器を用いたデジタルピーク電流制御 DC-DC コンバータの基本特性について

○爲永 陽樹、黒川 不二雄(長崎大学)

HCA-13-018 電流モード DC-DC コンバータのための新しいデジタル制御ソフトスタートについて

○相良 卓、黒川 不二雄(長崎大学)

HCA-13-019 電気二重層キャパシタを用いた瞬間充電型スクータにおける充電システムの検討

○前山 裕哉、大森 英樹、森實 俊充、木村 紀之(大阪工業大学)
中岡睦雄(慶南大学)、伊与田 功(大阪電気通信大学)

◎講演時間 1件当たり 20分 (質疑応答 5分を含む)

電子通信エネルギー技術研究会

〔専門委員長〕 庄山 正仁 (九大)
〔副委員長〕 大津 智 (NTT ファシリティーズ)
〔幹 事〕 石塚 洋一 (長崎大), 馬場崎 忠利 (NTT)
〔幹事補佐〕 山下 暢彦 (NTT)

議 題 テーマ「スイッチング電源、家庭向け情報通信機器のエネルギー技術、一般」

5月24日 (金) 13:00~16:45 [EE]

座長 押方 哲也(新電元工業)、西村 勝彦(富士通テレコムネットワークス)

- HCA-13-020 双方向 DC-DC コンバータを用いた電源システムにおけるノードインピーダンスと安定性について
○今村 泰隆、梁 時熏、庄山 正仁(九大)
- HCA-13-021 EDLC 用高効率 DC-DC コンバータ
○村田 彩、佐藤 輝被、西嶋 仁浩、鍋島 隆、後藤 哲士 (大分大)
- HCA-13-022 多重磁気結合非接触給電の電圧伝達特性解析
○安部 秀明、秋山 稔博、入江 健一、小原 弘士、尾崎 保、辻本 豊彦、工藤 均、藪田 明 (パナソニック)
- HCA-13-023 電解質膜への SiO₂ の添加と電極触媒層のイオノマーへのスルホン化 SiO₂ の適用が固体高分子形燃料電池の発電特性に及ぼす影響
○内地 聡志、長谷川 豊、金子 泰隆、武 哲夫 (東京都市大)
- 休憩 15分
- HCA-13-024 改良型 MPPT 技術を用いたオープンエネルギーシステムの開発
石橋 義人 (ソニーコンピュータサイエンス研) 、○稲森 真美子(慶大)
- HCA-13-025 通信機械室の熱対策と空調電力削減
○高橋 晶子、矢島 寛也、丸山 雅人、竹内 章、山下 暢彦、松本 守彦(NTT)
- HCA-13-026 福山太陽光発電所の公開発電データを用いたメガソーラ発電所の発電コストの試算
○宇野 和太(山口大)、岡本 昌幸(宇部高専)、平木 英治、田中 俊彦(山口大)

◎講演時間 発表 20 分+質疑応答 7 分